

湯郷渡・下母畑・上母畑の各サロンへ積極的な参加をお待ちしております！

2月4日（火）湯郷渡サロン 17名 参加 講師 山下 洋子、阿部 とも（健康リーダー）、4日（火）下母畑サロン 10名 参加 講師 小原 千春（保健センター）、14日（金）上母畑サロン 21名 参加 講師 福島交通3名（長谷川所長、真船課長、佐藤係長）がバスの乗り方について、そして廣田 智（理学療法士）が健康体操と脳トレ等で若返り策を行って頂きました。一日でも健康寿命を延ばす為に指導して頂いています。



上母畑サロン



下母畑サロン

2月度 白菊学級開催

2月12日（水）13時半から2月度の白菊学級が開催された。
小針良恵（主任保健師）による健康相談（血圧測定）と冬季節病
の予防についてと脳トレと健康寿命を伸ばす為に頑張って頂きま
した。



小針保健師に
る健康相談（
圧測定）実施

小針保健師による
冬季間の病気
予防について講
話を頂きました。



14日の上母畑サロンで福島交通の長谷川所長が「バスの乗り方等」について話して頂きました。



3月の行事

3日(火) 9:30 湯郷渡サロン
講師：福島交通、中島リバティ

7日(土) 13:30 書道教室

8日(日) 8:00 北山区総会 北山集会所

8日(日) 9:00 湯郷渡区総会 湯郷渡公会堂

10日(火) 13:30 下母畑サロン
講師：福島交通、中島リバティ

11日(水) 13:30 白菊学級

11日(水) 18:00 民謡教室

12日(木) 13:30 ハーモニカ教室

13日(金) 9:30 上母畑サロン
講師：廣田 智(理学療法士)

15日(日) 9:00 母畑第一区総会
15日(日) 9:00 上母畑区総会 上母畑集会所
17日(火) 13:30 きたす会
21日(土) 13:00 書道教室
24日(火) 13:30 きたす会
25日(水) 18:00 民謡教室
26日(木) 13:30 ハーモニカ教室
27日(金) 18:00 区長会分散会
28日(土) 9:30 そば打ち教室・総会
28日(土) 13:30 書道教室
29日(日) 18:00 交通安全母の会

編集後記 中国で発生した新型コロナウイルス（COVID-19）が中国では感染者が7万人超えで増えています。日本でも感染者が出ています。自己防衛をする為、外出の際にはマスクをし、帰宅時には手洗い、ウガイをし、自分の体は自分で管理するようにして下さい。

母畑自治センターだより

母衣方真

今月の題字 (277) 小4 遠藤 可子 さん

教育目標

「輝け！」

母衣旗」

令和2年 3 月

令和2年 3 月 第560号

発行日

発行日	令和2年3月1日
-----	----------

発行所

発行所	母畑自治センター
-----	----------

責任者

責任者	センター長 瀬谷 長一
-----	-------------

令和最初の仙道三十三観音巡りスタート！！

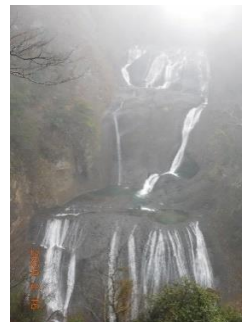
2月16日（日）母畑地区まちづくり委員会（委員長 関根 正夫）では、ふるさと再発見事業の第2弾として「仙道三十三観音巡り」をスタートした。当日は、小雨降る8時に20名の参加者の下、茨城県大子町の八溝山日輪寺（24番札所）、聖務蜜山 如意輪寺（23番札所）を目指しマイクロバスで出発しました。途中、先日の台風19号被害でマイクロバスが通れるか心配をしたがスムーズに通れて安心した。八溝山頂付近の地層は古いものから新しいものへと上に積み重なっていくのだが、ここでは地層がひっくり返っている珍しい場所である。約2億6000万年前、大陸のへりに「付加体」が形成され始めた1億8000万年前の付加体が、その後隆起して八溝山になった。そのとき付加体は、プレート運動による強い力を受け、しばしばちぎれたり（断層）、曲がったり（褶曲）によって地層が大きく変形し、逆さまになったものなのであるが、残念ながら外は小雨とモヤで確認できなかった。参加者の皆さん！是非とも天気の良い日にもう一度散策をしてはいかがでしょうか。先ずは当初の計画の日輪寺と如意輪寺を参拝できたことは救いであった。その外に永源寺、袋田の滝、山本不動尊等を見学し無事予定時間に戻って来れた。令和2年度行事計画では、残りの三十三観音巡りを計画し、多くの参加者に参拝して頂きたいと思っています。



出発式で挨拶する関根委員長



小雨降るモヤの日輪寺（24番札所）で記念撮影



袋田の滝



袋田の滝で記念撮影



永源寺で記念撮影

3番	3番	3番	3番	2番	2番	2番	2番	2番	2番	2番	1番	1番	1番	1番	1番	1番	9番	8番	7番	6番	5番	4番	3番	2番	1番	仙道三十三観音めぐり						
神宮寺	真福寺	長命寺	高福寺	善能寺	龍禅寺	神宮寺	満願寺	普門寺	日輪寺	如意輪寺	誓願寺	萬福寺	彦根寺	正法寺	龍沢寺	法蔵寺	西福寺	正福寺	円通寺	華嚴峯寺	白山寺	大慈寺	甘露寺	満福寺	入水寺	堂山寺	満願寺	光恩寺	日輪寺	妙音寺	如宝寺	泰平寺
須賀川市江持	須賀川市守屋	須賀川市梅田	鏡石町久来石	大信村下新城	白河市本沼	白河市表郷関辺	白河市表郷中野	茨城県久慈郡大子	棚倉町常世山	古殿町鎌田	石川町谷沢	石川町下泉	石川町湯郷渡	石川町中野	玉川村金波	須賀川市上小山田	須賀川市小倉	小野町小戸神	滝根町菅谷	船引町門沢	船引町移	二本松市杉田	本宮市太郎丸	郡山市富久山町	郡山市堂前町	郡山市田村町						

第4回そば打ち教室開催

2月22日（土）そば打ち愛好会（会長 鈴木清一）では、第4回そば打ち教室（二・ハ 500g）を開催し16名の参加し、会員相互のそば打ち技術向上を図った。尚、次回（3/28）は、第5回そば打ち教室と令和1年度総会を行ないます。



そば打ち教室開始する前に挨拶する鈴木会長



そば打ちに精を出す会員達

令和2年度 各教室新入生 募 集 !!

きたす会（カラオケ教室）		母 畑 書 道 教 室	
・会 長	阿部 作枝	・講 師	円谷 溪舟（書道教室委員長）
・会 員	6名	・生徒数	10名
・講 師	緑川 敬一（ビクター歌謡音楽研究会）	・開催日時	月3回第一・第三・第四の土曜日
・練習日時	第3週火曜日・第4週火曜日		13:30 ～
	13：30～15：00	・練習会場	母畑自治センター
・練習会場	母畑自治センター	・月 謝	1,500 円／月
・会 費	2,000 円／月		

民 謡 教 室		白 菊 学 級	
・会 長	馬場 栄一	・会 長	木戸 孝子（上母畑）
・会 員	10名	・会 員	16名
・講 師	添田 常勝（湯郷渡区）	・日 時	第2週水曜日
・練習日時	第2週水曜日・第4週水曜日		13：30～15：00
	18：00～20：00	・会 場	母畑自治センター
・練習会場	母畑自治センター	・活 動	健康相談（血圧測定）、健康体操、創作活動、イベント参加対応
・会 費	1,000 円／月		

そば打ち教室		ハーモニカ教室	
・会 長	鈴木 清一	・会 長	関根 政治（上母畑）
・会 員	30名	・会 員	15名
・講 師	そば打ち教室教育指導員	・講 師	高原 榮征（元教育長）
・練習日時	3回（土曜日）／年	・練習日時	第2週・第4週 木曜日
	9：30～12：00		13：30～15：30
・練習会場	母畑自治センター	・練習会場	母畑自治センター
・会 費	約1,000 円／月	・月 謝	1,000 円／月
・イベント出場	ねむの木まつり・カカシまつり	・イベント出場	ねむの木まつり・カカシまつり外

※各教室に入会を希望したい方は、母畑自治センター（26-1593）へご連絡下さい。

母畑村讀本

尚各、御出合の砌金山組中御誘引可申合候。まもなく、二十四日の夜、八幡館に火が上り鉄砲の音がしたので、四方八方から一度にわあわあときの声を上げて集った人数万どゆうて居る。むしろ旗を押立てゝそのうち一人の百姓が、この様に百姓共が困つて終つたのは庄屋共が悪いからだ。これから庄屋共を打ち潰して終はなければならぬ、とゆうより早く大ぜいの人々はわれもわれもと金山さして歩き出した。これを聞きつけた奉行は馬に鞭打ち手下を引連れ駆付けたけれども烏合の集り、後から後から来る人に押まくられて引上げて終つた。それから中畑、北は谷田川、中津川、柳橋、塩田、小作田、狸森、小倉、小山田、南石川、山橋、山白石、等ことごとくねり歩いて潰して終つたのだ。それはそれはものすごかつたといつて居る。そのうちでも前田川の大庄屋を潰した時は、庄屋様は門がまえのうちに庫が沢山あつて酒を造つて居たそう。このおそろしい騒動の人が来るとゆう事を知つた、庄屋様は酒庫の奥へ長持たんす、を運んでつぶ銭は酒の中へ入れて、其の上に油を流して、近所のお寺にかくれて終つた。そこへ押よせた大勢はこの物持よと家をたゞきこわし倉の中へはいつて見るとこの有様であつた。いきなり鉦を振り上げて酒桶のたがを切るとつづ銭が飛び出して庫一面海辺の砂利を歩くようだといつて居る。百姓共あれよあれよと取ろうとしたが油が一面流れてつづ銭手にひつゝいてぬげやしない。まことに工夫したものだと人々あきれて出て終つた。それから次へ次へとねり歩いたのだ。こんな面白い話はまだまだある。これが有名な浅川騒動だ。まもなく、奉行所から役人共大勢要所要所を取りかため追散して終つたからこの大さわぎもほどなく止んだ。其の時島隠居とゆう人が捕えられて、島流をされたのだ。昔はよくこんな事があつた。どうだ面白いかとゆうからぞれじやこの辺も大さわぎだつたね」と聞くとぞうさ、この道が大森田の方からやつて来たのだ。石川の物持ちが潰された時はそれはそれは大へんな事だつたそう。浅川では役人と騒動の人だちが衝突した時に代官様の三軒槍で見る見る五、六人刺し上げられて、百姓共我さきにと逃げて終つた事もある。

自分の脊中をよくわからないと同じように我母畑村の長所短所はわからない。だが鏡で見れば脊中は見える。我々は世間の人がゆう事から自分の長所短所を知らなければならぬ。或る人がいつている。母畑はいゝじやないか、こんな時に煙草が高く賣れて、村にはどつさりお金がはいる。お湯がある。山からは、炭や薪がどしどしとれる。こんなにやぐが出る。それに人達も眞面目でよく働く、何事にもよく協同一致で仕事をする」なる程こんなよい村はあるまい。實におだやかである。よい空氣をを心行くばかり吸つて朝から晩まで面白く働けるのだ。だが私共は一層よい村にしようとするには、それだけ自分達を考えなければならぬ。私共は眞面目でよく働くが、何事でももつと研究心が足りない。自分の仕事を考え、そして行つてから反省する事が大切である。又割合に軽卒である。質朴でない。石川に近いせいもあるが自分は村の者である。とゆう考えがいつの間になくなつて、いたずらに町風に馴れて終うきらいがある。次に公德心が又々薄い手近な所集會ある毎、時間れいこがよう易に出来ない。お話の中頃平氣で座を立つかえりには我先にと出口を争う。其他おそう式や御祝儀の改善、トラホームについて、毎年出来るチブス、こうした事を数え上げたらまだまだあるだろう。誰しも缺点のない人はない。人のふり見て我ふり直せ」我等は一刻も早く惡所は捨てゝ善良な母畑村民とならなければならぬ。

今月号で「母畑村讀本」の掲載は、全て終了致しました。次月号からは、別の母畑に関係することを掲載いたします。

終り

明けて正月の二日の朝白河へ狼や縞犬が来てあばれ廻り村々迫も来るとの事でさわがしかつた。其の時これはよい事だと御陣所の鉄砲を残らず借り出して終つた。そして二十二日の夜村々へ不思議な落文を配つたのだ。

来る二十四日の晩、八幡館に於て各方へ申談度旨有之候に付其村銘々よき鉦鎌御持参にて御出會可被下候。尤御出無之候はゞ其村へ不殘火をかけ可申候。此旨心得違無之様可致傳合候

己上

其の後死んだ人達をお寺へ埋めたのだが二十六人と腕一本あつたといつて居る。わしが小さい時島隠居が棒をついて歩るいて居るのを良く見たものだといつた。僕はその島隠居がどんな人だか知リたかつた。